

常任委員会の審査報告

生活路線バスの運行・地域情報通信ネットワーク基盤整備事業の今後の考え方について

総務常任委員会

問 生活路線バスを維持するのにもどのようにしていくか。

答 道路運送法も改正になり、市独自の運行方式についてもかなり規制緩和が進んできたということもあるので、平成十九年度は新市全域での公共交通のあり方についてしっかりと調査をし、計画を立てていきたいと考えている。

問 現在、岩代地域で光ケーブルを利用している実家庭数はどのくらいか。

答 十一月末現在で六百三十三戸、利用率は27・1%である。

問 岩代地域以外での情報通信ネットワーク基盤整備についてどのようにしていく考えか。

答 基本的には民間事業者に進めてもらうものだと考えているが、民間事業者が入れない地域について市としては検討していきたい。まずは市民の方々の意向を確認するためにアンケート調査を実施したい。

福島県後期高齢者広域連合の設置について

生活福祉常任委員会

問 後期高齢者医療制度へ移行した場合、市の負担と被保険者の負担は。

答 市の負担としては平成十九年度当初予算に準備事務経費を計上する予定。現行国保会計から老人医療給付への拠出金として50%負担しているものが、制度開始後は後期高齢者支援金として40%となり10%が減る見込み。本人負担分の保険料は、国で試算されたものがあるが、実際の額は今後になる。

問 東和学童保育所の開設に向けて行った調査の経過と結果は。

答 合併前に開設に関するアン

ケート調査を行い、今年度には仮申込という形で実施し、十八名の希望があった。

問 老人保健と介護保険の繰出金を抑制するには。

答 給付費全体を抑えないと市負担を抑制することはできない。今後は、給付費の引き下げにつながる予防事業の取り組みに力を入れたい。

※後期高齢者医療制度

現在の老人保健制度が平成二十年四月から「後期高齢者医療制度」になるもので、この制度の財政運営は都道府県単位で全ての市町村が加入する「広域連合」が行います。七十五歳以上の「後期高齢者」は国民健康保険・被用者保険から「後期高齢者医療制度」に加入することになるもの。

水道料金改定について

産業建設常任委員会

問 安達ヶ原ふるさと村の一部無料化に伴い、防犯対策はどのようにするのか。

答 当面は、開放時間を決め夜間は閉鎖するが、詳細については現在検討中である。

問 合戦場のしだれ桜周辺駐車用地は、旧岩代町で取得していたはずだが、何故、新たに土地を借りるのか。

答 取得していた用地は、整備の

ために多額の費用を要し、また、接道の関係で大型バスの利用に大変不便な場所であるため、総合的に判断した結果、今回の予定地を借地し整備することとした。

問 今回は水道料金の値上率を抑え、料金統一時期まで段階的に見直していくことはできないのか。

答 赤字解消をしなければならぬが、今回の改定率を下げれば赤字幅は大きくなり、解消までの期間と次回改定の利用者負担増に影響する。今回の改定率は、合併協定で定めた料金統一を円滑に実現させるため、様々なシミュレーションを行い、検討した結果である。

平成十七年度一般会計歳入歳出決算及び平成十八年度一般会計補正予算等に関して

文教常任委員会

問 平成十七年度二本松市一般会計歳入歳出の決算認定において、私立幼稚園教育振興補助の補助金は、直接、園に支払われているのか。それとも個人へ支払われているのか。

答 私立幼稚園保育料助成、幼稚園就園費補助の両方とも、直接、園に支払われている。

問 二本松市非常勤の学校医等の報酬及び費用弁償に関する条例の

一部を改正する条例制定において、報酬の基本額を増額するとした根拠は。

答 県内の類似団体の実態を参考とし、基本額を一割増額し、その他、年間を通しての学校保健委員会などの相談経費等を勘案した。

問 平成十八年度二本松市一般会計補正予算において、学校管理経費増の主な理由として、灯油単価の改定によるものであるとのことだが、その時期と上げ幅は。

答 当初予算編成時においては、灯油一リットル当たり六十七円二十銭だったものが、現在、八十円八十五銭となっており、計六回の改定が行われている。